



森の里小学校  
研修部通信  
令和2年8月20日

## 各ブロックの話し合いより

7月6日(月)に、ブロック研が行われました。今回は、各クラスで行っている取り組みや今後の取り組みについて交流しました。

### 【低学年ブロック】

#### 1. 今年度の取り組み

##### 視点1「考える力の育成」

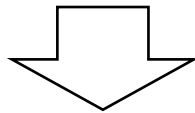
- 学びのための学習プロセスの活用→各学年、流れを確認しながら学習を進めている。
- 問題文を読み取り、今までとの違いを把握しながら課題へ向かうようにしている。
- 既習事項の定着を目指すために、掲示物を使いながら学習をしている。(既習事項を使うことで、考えをもてるように。)
- 問題をイメージできるように具体物を使うなど、教材教具の工夫をしている。
- 実物投影機を使うことで、友だちの考えがわかり交流がスムーズに行うことができる。
- 課題は、子どもたちの言葉を使うようにしている。
- 考える場面の設定を効果的にしていくようにする。

##### 視点2「学び合い」の充実

- 繰り返し発言を授業の中で使うことで、理解の定着を目指している。
- わかりやすく伝えるために、ホワイトボードを活用すると便利。
- 問題を解く時間の確保が必要。
- 交流形態の工夫について→コロナのため、ペアやグループの交流が難しい。

##### ノート交流について

- 見開きで使うやり方にも慣れてきた。
- 考えがまとまらずに長くなる時がある。今後も継続して指導していく必要がある。
- 筆算があると、どうしてもノートがページ内で収まらない時がある。



☆考える場面の設定は、1時間の中でどの場面に取り入れるか、意識をして取り入れていく。  
☆問題を解く時間の確保として、ノートに問題を書かせずにプリントして取り組むなどの工夫をすると時短になる。  
☆交流形態の工夫としては、ノートを見せ合う交流や実物投影機を使った交流を中心にしてもよい。必ずペアやグループではなく、全体の中で交流をしながら深めていく方法などできることをしていく。  
☆筆算があるときのノートのページについては、臨機応変で使っていく。

## 【高学年ブロック】

### 1. 今年度の取り組み

#### 視点1「考える力の育成」

- 既習事項はおおむね定着している。
- 実物投影機やホワイトボードなどを活用している。
- 既習事項を使って活用する力が足りない。
- 低位の子児童の実態に合わせた指導を工夫している。
- 考えを深めることが難しい。

#### 視点2「学び合い」の充実

- 基礎基本（学習ルール）については身につけている。
- 振り返り活動については、教科書の時間の最後に出てくることばを確認したりして次時へつなげることができる。
- 個々の考えをつなげたり、比べたりすることはできる。

### 2. 各学年の実態

#### 4年生

- おとなしい。静か。（1組）
- 元気、活発（2組）
- 単純な計算はよくできる。
- ノート作りを意識して行っている。
- 実物投影機やホワイトボードなどを活用している。
- 反応がうすいので、反応の大切さを日々伝えて声をかけている。
- 説明や伝えることが苦手な子が多い。
- かけ算九九を覚えていない子が数人いる。
- 理解力の差が大きい。
- 文章問題を読み解くことが苦手で、何算なのかが分からない。
- 必要最低限の板書の量や、時間配分の難しさを感じている。
- 低位の子の底上げを行いたい。
- テストの形式が変わり、考え方を問う問題が増えた為、問題が難しいと感じる。
- ノートには、何も考えないで写しているだけの面があるので、工夫できるようになるといいと感じる。

#### 6年生

- 真面目に取り組んでいる。
- 考え方の発表などもできる。
- 既習事項は身につけている。
- 既習事項を生かすことが難しい。
- 教科書通りにやってしまうので、考え方の深まりがほしい。
- 多様な見方を意識させたい。
- 考え方をどこまで見せるのかを悩む。
- 教科書だけで終わらない、発展的な内容を取り扱いたいのが難しい。

## 【特別支援ブロック】

### 1. 今年度の取り組み

#### 森の子学級

- ◎基礎基本を身につける子ども  
「児童一人一人に応じた生きる力を  
はぐくむための指導のあり方」  
〈研修を通して目指す子ども〉  
楽しみながら活動に取り組む子ども

#### 里の子学級

- ◎進んで取り組む子ども  
「輝く瞳で、主体的に活動する  
児童の育成」  
〈研修を通して目指す子ども〉  
進んで活動に取り組む子ども

#### 具体的な取り組み(森の子・里の子合同)

- 児童の実態、保護者の願い等の把握
- 個別支援計画、指導計画の作成。
- 学習内容の精選。
- 学習形態の工夫。
- 教材、教具の工夫。
- 学習環境の整備。
- 基礎的基本的な数の知識、  
技能を生かした実践。
- 生活体験に基づく学習内容の精選。
- 個人の力を生かす集団での活動。

#### 今年度の授業者

高橋（玄）、松浦

※知的・情緒合同で行っている算数の授業です。

短い夏休みでしたが、リフレッシュできましたか？

次回の研修は、8月24日（月）です。前半は、ブロックごとに算数アンケートの結果の交流を行ってください。後半は、各ブロックで時間を有効にご活用ください。

2学期も、密にならないように研修を進めていきましょう♪

